



# 小型船造船業登録済証

令和元年8月9日

関東運輸局長



登録年月日

平成2年11月9日

登録番号

関小鋼造第105号

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

株式会社 横浜工作所

神奈川県横浜市鶴見区

生麦二丁目3番29号

代表取締役 二宮 一也

小型造船業の種類

事業場の名称及び所在地

小型鋼船造船業

株式会社 横浜工作所

神奈川県横浜市鶴見区

生麦二丁目3番29号

特定設備	種類	能力	No.1	No.2	No.	No.	No.
現図工事設備	現 図 場	面 積 (㎡)	168.8				
溶接設備	溶接用変圧器	容 量 (KVA)	120				
	溶接定盤	面 積 (㎡)	84				
製材設備	動力式の のこぎり	回転体の直径(mm)					
		回 転 数 (r/m)					
船体製造設備	ドック	長 さ (m)					
		幅 (m)					
		深 さ (m)					
		耐 圧 力 (t/㎡)					
		クレーンのつり揚力量(t)					
	引揚船台	陸上耐圧部の長さ(m)	48.795	48.795			
		陸上耐圧部の幅(m)	10.15	8.85			
		陸上耐圧部の耐圧力(t/㎡)	34.74	34.74			
		水中耐圧部の長さ(m)	38.746	40.239			
		クレーンのつり揚力量(t)	15×1/2	15×1/2			
		進水台の材質	鋼製レール	鋼製レール			
	造船台	陸上耐圧部の長さ(m)					
		陸上耐圧部の幅(m)					
		陸上耐圧部の耐圧力(t/㎡)					
		水中耐圧部の長さ(m)					
クレーンのつり揚力量(t)*							
	進水台の材質						
船体修繕設備	ドック	長 さ (m)					
		幅 (m)					
		深 さ (m)					
		耐 圧 力 (t/㎡)					
		クレーンのつり揚力量(t)					
	引揚船台	陸上耐圧部の長さ(m)	48.795	48.795			
		陸上耐圧部の幅(m)	10.15	8.85			
		陸上耐圧部の耐圧力(t/㎡)	34.74	34.74			
		水中耐圧部の長さ(m)	38.746	40.239			
		クレーンのつり揚力量(t)*	15×1/2	15×1/2			
	進水台の材質	鋼製レール	鋼製レール				
	引揚機の力量(kw)	37×1/2	37×1/2				

\*ただし、製造にあっては進水に、修繕にあっては引揚及び進水に際しては、必要な揚力量を有するクレーンを使用すること。